

水・緑・花 人がふれあう 生活都市えにわ

第4期恵庭市総合計画 後期基本計画 PR版

2011—2012—2013—2014—2015



笑顔の花があふれるまちへ
えにわの未来図

北海道恵庭市

恵庭市 後期基本計画

C O N T E N T S

2011 - 2015

平成23年度

平成27年度

- 3 まちづくり施策・事業のポイント
- 4 (仮称) 西島松北交流公園整備
- 6 救急医療体制の充実
- 8 (仮称) 黄金地域交流センター
- 10 高齢者等への図書宅配サービス
- 12 コンパクトなまちづくり
- 14 新公共交通システムの構築
- 16 生ごみ資源化処理施設整備
- 18 市民参加型・えにわ版マルシェ
- 20 (仮称) えにわ知恵ネットバンク
- 22 後期基本計画の概要
- 23 施策の体系



えにわ・花子さん

ふるさと納税制度
「えにわ・花子さん愛情寄付」
推進キャラクター

【プロフィール】

とっても物知りの女の子。
恵庭のことが大好きで、市民の
だれとでも仲良くなれるんだ。
まだ小さくてできないけど、ふ
るさと納税にも関心があるらし
いよ。

★ 登場人物 ★

ふ れ あ い 一 家



ふれあい育男

頼りになるお父さん。
普段は家族のために一
生懸命働いているからマ
ンガでの出番は少なめ。



ふれあい恵美

料理が得意な優しいお
母さん。花子さんのことを
自分の子どものようにか
わいがっているよ。



ふれあい げんき

花子さんと仲良しの元気
な男の子。わからないこ
とはだいたい花子さんに
聞くよ。



ふれあい 建

家庭菜園が趣味の陽
気なおじいちゃん。げ
んき君と良いコンビ。



ふれあい 緑

読書が趣味。げんき君に
いろいろなことを教えてく
れるおばあさん。



近所のおじさん

ごみ捨て場で
ばったり会った
よ。



近所のおばさん

お母さんの
茶飲み友達。

まちづくり施策・事業のポイント

未来に希望をもち、今を安心して暮らせるまち。そんなまちを市民のみなさんとともに創っていきたいという気持ちが盛り込まれた計画となっています。

1.雇用の拡大と地域経済を活性化させる。

- ・景気経済活動に対応した雇用創出事業を進めます。
- ・商店街活性化に向けた計画づくりや空き店舗対策など、振興対策を推進します。
- ・市民参加型・えにわマルシェ事業など、活性化に向けたイベントを実施します。

2.地域医療をさらに進化させる。

- ・保健事業や救急医療体制の充実に向け、近隣市町村・医師会などとの連携を強化します。
- ・特別支援学級、保育園などにおける医療行為支援助成を行います。

3.心豊かで、たくましい子どもを育てる。

- ・保育事業や子どもの居場所づくりなど、子育て支援事業を充実します。
- ・教育施設・環境の整備と生徒・児童への相談体制、特別支援教育を充実します。
- ・スポーツ振興計画に基づき、スポーツ環境や施設の整備充実を図ります。

4.市民の声を聞き、協働のまちづくりを進める。

- ・市民の声を聞く事業を充実し、協働のまちづくりを進めます。
- ・地域の人材・知恵を、みんなで活用できる仕組みづくりに取り組みます。
- ・市民参加の保障や自治運営の役割を規定する条例の策定を推進します。

5.将来を見据えた恵庭のまちづくりを実行する。

- ・JR3駅周辺に都市機能を集積した、コンパクトシティの再整備事業を推進します。
- ・エコバスなど新公共交通システムの実証運行を拡充します。
- ・持続可能な循環型社会を目指した施設・制度を整備します。

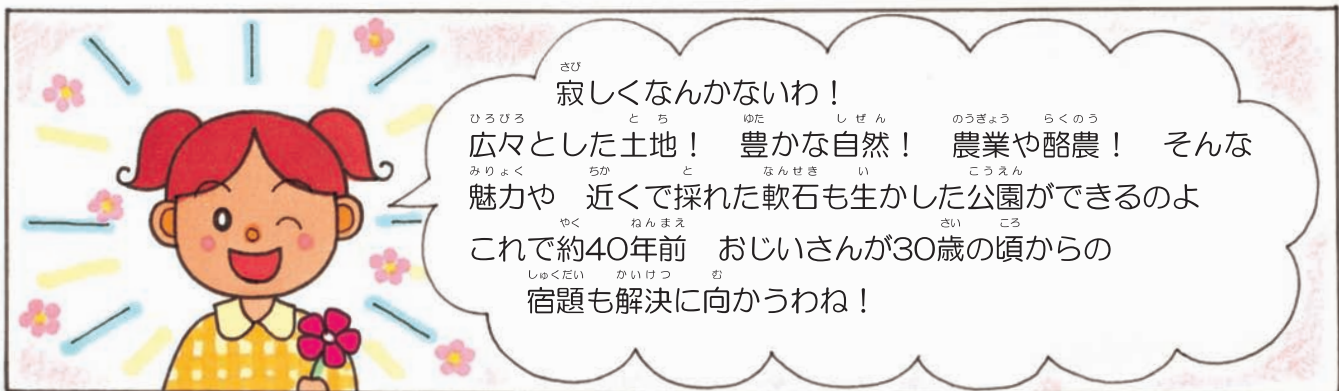
恵庭市では、平成23年度からの新たなまちづくりに向けて、基本的な施策や事業をまとめた「第4期恵庭市総合計画・後期基本計画」を策定しました。このPR版では、えにわ・花子さんとふれあい一家が登場する漫画形式で、後期基本計画について紹介しています。多種多様な事業の中から、市民生活に直結する福祉・教育などの身近な分野、まちづくりに取り組む事業など計9項目を取りあげています。子どもから大人まで幅広い年代の人々に読まれ、「まちづくり」に興味を持つきっかけとしてもらえることを願っています。

のう しぜん ひと
農と自然、人がふれあう

にししままつきたこうりゅうこうえんせいび

仮称
かしょう

西島松北交流公園整備

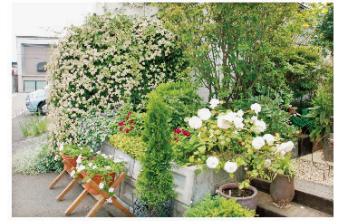


基本目標 1

水と緑と花に彩られた魅力あるまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・(仮称)西島松北交流公園整備
- ・新 水と緑のやすらぎプランの推進
- ・景観形成基本計画の推進
- ・えにわガーデンフェスティバル
- ・公園施設長寿命化計画の推進
- ・柏木川河川緑地の利活用
- ・北島地区遊水地利活用計画の策定
- ・地域新エネルギー・省エネルギービジョンの推進



Pick
up

仮称) 西島松北交流公園整備

広々とした丘陵に、畑や牧草地が広がる西島松北地区。

市は、(仮称)西島松北交流公園を整備するため、平成21年度から事業に着手し、平成25年の整備完了を目標に計画を進めています。

整備計画の概要

土地面積

約32ha (交流ゾーン18ha、ルルマップ川自然環境ゾーン14ha)

主な施設

- ・農園広場…市民農園や、ジャガイモ、ハスカップなどの収穫体験農園
- ・多目的芝生広場…子どもがのびのび走り回れて、少年サッカーなどに活用できる約2haの芝生広場
- ・パークゴルフ場…初心者から上級者まで多くの人を楽しめる全54ホール
- ・修景広場 ・アートビレッジ…島松軟石を使ったモニュメントやサイロの広場、「アート・文化・癒し」をイメージした空間
- ・ルルマップ川自然環境ゾーン…自然の樹木や水田跡地などの原風景を生かした散策路

豆知識

仮称)西島松北交流公園って、どこに建設するの？

恵庭市の北西端に位置する「西島松地区」に建設します。南西側には道央自動車道と国道36号、東側には道道江別恵庭線や市道西7線などの幹線道路が通う、札幌方面からの出入り口部となる交通アクセスが良い地区で、恵庭市の街並みや周辺市町を眺望することができます。

みんなの健康を守るために

きゅうきゅういりょうたいせい じゅうじつ

救急医療体制の充実



基本目標2

安心して健康に暮らし子どもを大切にするまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・健康づくり事業(ウォーキングの普及)
- ・こころの健康づくり普及啓発
- ・救急医療体制の充実
- ・救急医療体制の近隣市との広域連携
- ・特定健康診査等実施計画の推進
- ・国民健康保険の脳ドック事業
- ・後期高齢者医療制度における健康診査・脳ドック事業



Pick
up

救急医療体制の充実

市内在宅当番医療機関の医師不足などにより、夜間や休日などで、医療機関の空白が生じる事態が想定されます。そのため、恵庭市医師会および各医療機関との協議調整を進め、さらなる1次救急医療体制の充実を目指します。

また、市民の皆さんがいつでも安心して医療を受けられるよう、近隣の市町村とも連携し、24時間体制の1次・2次救急医療体制を整備していきます。

救急医療体制の現況

休日など・・・内科・外科 → 市内の医療機関が輪番により在宅当番で対応
夜間・・・内科・小児科系の初期救急医療機関 → 夜間急病診療所が対応
その他・・・24時間体制の2次救急告示医療機関 → 市内3病院が対応

※初期救急医療機関

⇒ 急病センターや地域の在宅当番医による休日・夜間の外来救急患者診療体制

※2次救急告示医療機関

⇒ 救急車で運ばれる急病人・負傷者に対応する医療機関

豆知識

恵庭市の医療体制と1次および2次救急医療体制の違いについて

□ 恵庭市には、病院7カ所、一般診療所(医院)31カ所、歯科診療所(医院)33カ所の医療機関があり、ベッド数は1,219床を数えています。(千歳保健所調べ/平成22年12月末現在)

□ 1次:主に軽度の救急患者に外来診療を行う初期医療

□ 2次:入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療

い まな こうりゅう
行こう 学ぼう 交流しよう

こ が ね ち い き こ う り ゅ う

仮称
かしゅう

黄金地域交流センター



基本目標2

安心して健康に暮らし子どもを大切にするまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・保育計画の推進
- ・一時保育事業の拡充
- ・学童クラブの充実
- ・放課後子ども教室の推進
- ・ファミリーサポートセンター事業の活用
(病後児支援事業の充実)
- ・総合・地区子どもセンター機能及び複合機能施設
の整備(黄金地域交流センター)



Pick
up

仮称) 黄金地域交流センター

人口の増加する黄金地区に、子どもから高齢者までの幅広い世代が利用できる、地域のための多目的複合施設「(仮称)黄金地域交流センター」を整備します。

生涯学習の地域拠点、子どものための児童館・学童クラブ、老人憩の家、地区会館の機能を集約し、地域の人々が気軽にふらっと立ち寄ることができ、偶然の出会いや、世代間の交流がうまれる「ゆるいコミュニティ」づくりが、施設のコンセプトです。

整備計画の概要

建設予定地 黄金南5丁目11-1外 (史跡カリンバ遺跡および史跡関連用地に隣接)

施設の主な機能

【老人憩の家】 【児童館・学童クラブ・子育て支援】 【地区会館・市民活動】

住民アンケートの結果を踏まえ、世代間交流を促進するため新たな機能を導入します

- 【図書機能】→ブックステーションの設置
- 【展示機能】→創作作品や子どもたちの絵などの作品を展示
- 【休憩・喫茶機能】→カフェテリアを設置
- 【イベント機能】→屋外広場、花壇の整備



豆知識

カリンバ遺跡って何？

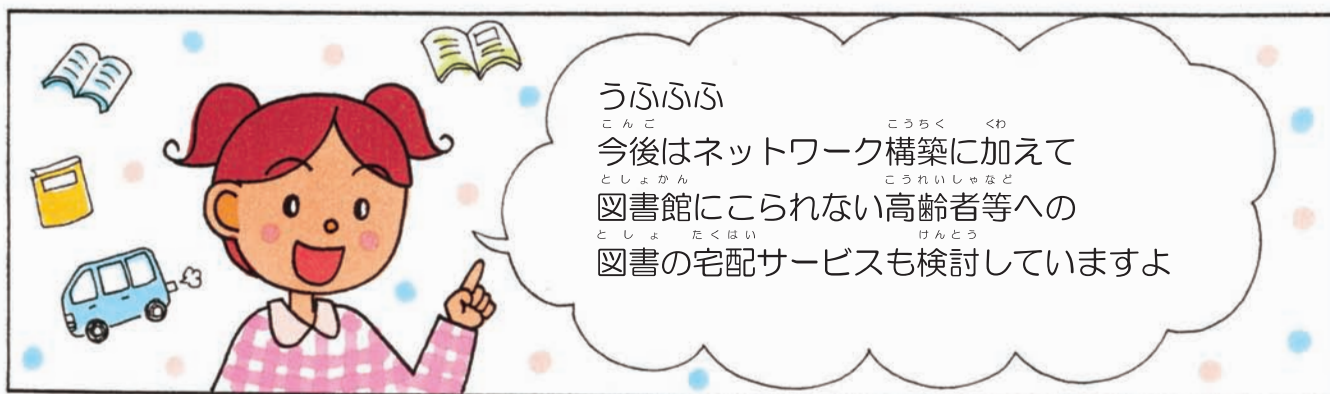
カリンバとは、アイヌ語で「桜の木の皮」という意味。以前は遺跡の近くを、遺跡名のもとになったカリンバ川という小川が流れていました。カリンバ遺跡は、この川が流れる低地面と、それより2~3mほど高い段丘面に残された、縄文時代から近世アイヌ文化期の遺跡です。特に、縄文時代後期末から晩期初め(今から約3,000年前)頃の漆製品を多数納めた合葬墓は全国的にも珍しいことから、平成17年に段丘面と低地面を合わせ、約4.2ヘクタールが国の史跡に指定されています。

いくつになっても、本を楽しむ

こうれいしゃなど

としょたくはい

高齢者等への図書宅配サービス

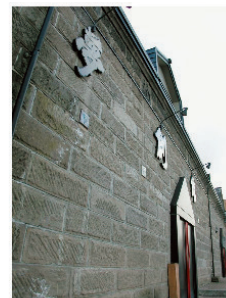


基本目標3

学ぶところと元気なからだを育むまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・学校教育基本方針の策定・推進
- ・小・中学校耐震化推進事業
- ・国際交流会館の活用
- ・図書館サービス計画の推進
- ・島松公民館リニューアル事業
- ・夢創館の活用
- ・郷土資料館展示リニューアル事業
- ・子どもの体力向上方策の推進



Pick
up

高齢者等への図書宅配サービス

生涯各期にわたる読書環境充実の一環として、図書館への来館が困難な高齢者等へ、図書宅配サービスを実施します。

平成24年度以降の本格実施に向け、平成23年度は関係各部署と連携し、試行します。

読書環境・学習環境のさらなる充実に取り組みます

恵庭市子ども読書プランの推進

ブックスタート・ブックスタートプラス事業
小・中学校の図書の充実、家読（うちどく）事業など

図書館サービス計画の推進

ブックステーションの整備、図書館分館の再整備など

図書館情報提供システムの構築

新着情報配信サービス、図書館システムの更新など

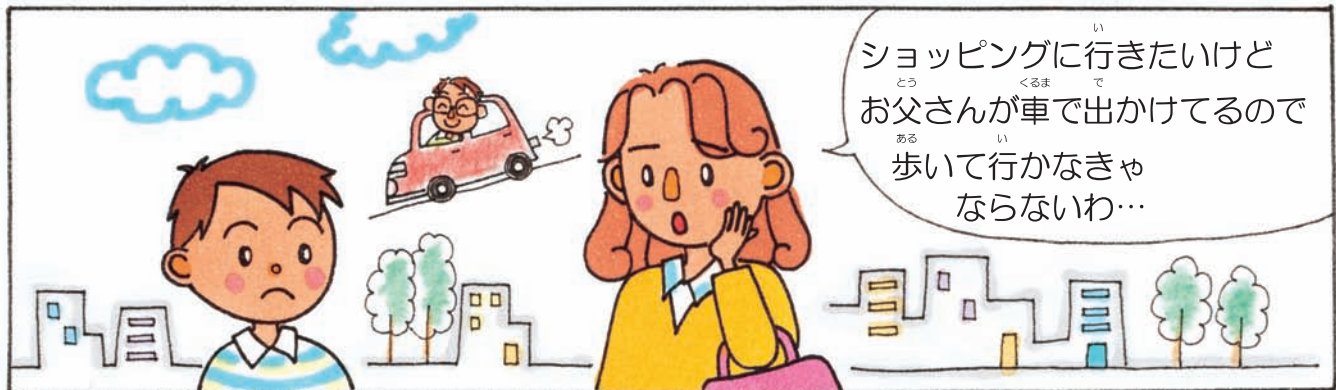
豆知識

家読(うちどく)って何？

「読んだ本について、家族で話す」ことに重点を置いた読書スタイル。家族で感想を話しあうことでコミュニケーションを深めるとともに、心の豊かさを育んでいく活動です。

か
えにわのまちはこう変わる！

コンパクトなまちづくり



基本目標 4

生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・恵庭駅前地区市街地再整備事業
- ・恵庭駅西口土地区画整理事業
- ・恵み野駅西口土地区画整理事業
- ・住宅政策基本計画の推進
- ・空き地、空き家バンクの検討
- ・市営住宅長寿命化計画の推進
- ・バリアフリー特定事業
- ・島松駅周辺再整備事業



Pick
up

コンパクトなまちづくり

「恵庭市都市計画マスタープラン」の中で、これまでの「市街地拡大型」のまちづくりを見直し、恵庭駅、島松駅、恵み野駅の3駅を中心として、その周辺における都市機能（行政、教育、医療福祉、商業）の強化と充実に力をおきます。効率的で暮らしやすい、さらには高齢化に対応した「コンパクトなまちづくり」を進めます。

地域中心のイメージ

恵庭地域

恵庭の顔づくり

恵庭の中心市街地にふさわしい顔づくりを目指すとともに、快速列車停車駅ならではの利便性を生かした都市機能の導入を図ります。

島松地域

人にやさしいまち島松

駅周辺のバリアフリー化や都市機能の集約化を図り、高齢者などが安心して暮らせるまちを目指すとともに、良好な地域コミュニティを生かした活性化を進めます。

恵み野地域

「花のまち恵庭」のイメージ発信拠点

花のまち、ガーデニングのまちの住宅市街地にふさわしい都市機能の導入を図るとともに、住環境を見据えた住み替えを促進します。

豆知識

「都市計画マスタープラン」って何？

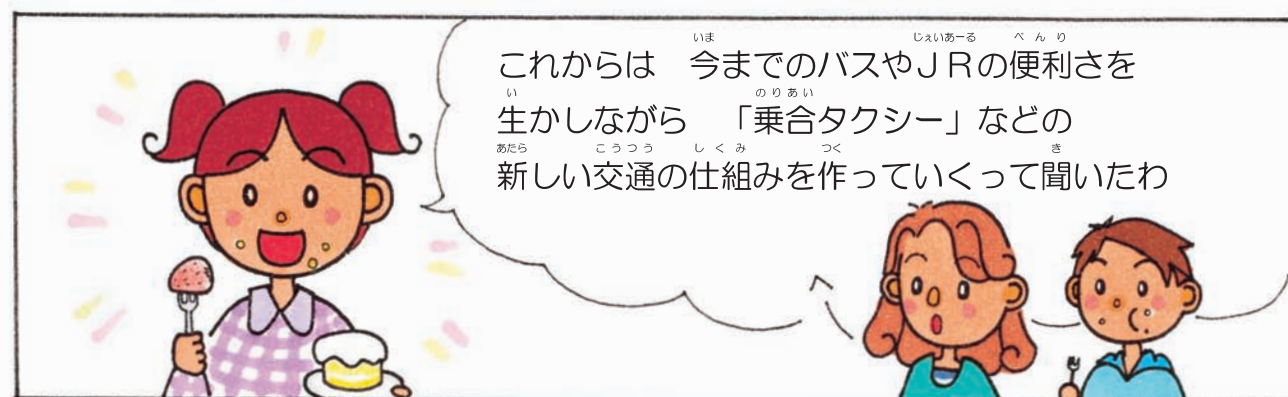
都市計画マスタープランは、都市計画法(第18条の2)に定められている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」の呼称であり、市町村がその創意工夫のもとに、市民の意見を反映して、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの方向性を定めるものです。

い
行きたいところへ らくらくアクセス♪

しんこうきょうこうつう

こうちく

新公共交通システムの構築



基本目標 4

生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・道道札幌自転車道線の整備促進
- ・道東自動車道スマートインターチェンジ設置検討
- ・橋梁長寿命化修繕計画の推進
- ・主要地点名案内、公共施設誘導標識の充実
- ・新公共交通システムの構築



Pick
up

新公共交通システムの構築

交通空白地域の解消や高齢者などの交通弱者の足を確保するため、えにわコミュニティバス（エコバス）の再編と乗合タクシーの実証運行を行い、市の公共交通網の確立と利便性の向上を図ります。

乗合タクシーって何？【(仮称)コミュニティタクシーとは】

エコバスを利用できない地域に住んでいる人々、高齢者や障がいを抱える人々の生活交通を支えるための新しい交通手段です。乗合タクシー方式で自宅から順番に、指定の施設まで送迎します。現在、エコバスが利用できない地域に住んでいる人を対象に、実証運行を行います。

どんなところに行けるの？【目的地(指定施設)】

市役所をはじめとした公共施設や市内3カ所のJR駅、市内医療機関、市内スーパーなどに行くことができます。また、決められた時間枠であれば、往復・片道いずれでも利用できます。

豆知識

エコバスの名称の由来

一般公募したマスコットキャラクターの名前の「エコ」「えにわ」の(e)と「コミュニティ」の(co)を組み合わせ、これに(バス)を加えて、eco(エコ)バスと呼ぶことにしました。低公害車で乗降が楽な低床車両を導入。人と自然に優しい公共交通システムづくりを目指しています。

かんきょう

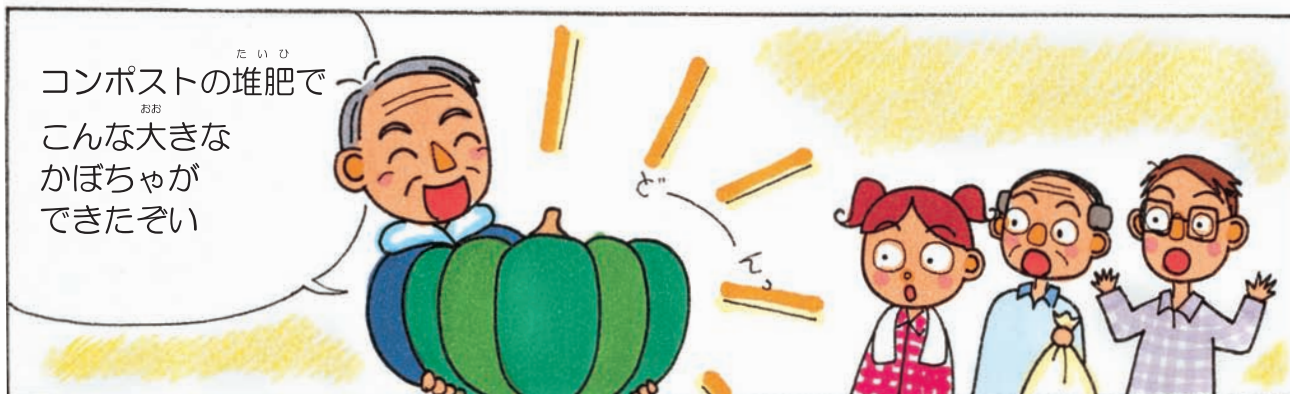
じゅんかんがたしやかい めざ

環境にやさしい循環型社会を目指そう！

なま

しげんか しょりし せつせいび

生ごみ資源化処理施設整備



基本目標 4

生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・生ごみ資源化処理施設整備事業
- ・焼却施設整備事業
- ・紙資源化処理施設整備事業
- ・集合住宅排出ごみ等優良保管場所認定制度
- ・公共施設耐震改修事業
- ・災害時要援護者支援制度の普及・啓発
- ・消防広域化の推進
- ・消防救急無線デジタル化整備事業



Pick
up

生ごみ資源化処理施設整備

現在、市は生ごみを可燃ごみとして扱い、埋め立て処分を行っていますが、脱温暖化社会や循環型社会の構築を実現するため、リサイクルとエネルギー回収が重要課題となっています。平成20年度に策定された「恵庭市循環型社会形成推進施策」に基づき、生ごみを循環資源として位置づけ、下水終末処理場を活用してバイオガス化するための、生ごみ資源化処理施設を整備します。

整備計画の概要

整備地： 中島松460-1（恵庭市し尿処理場内）

スケジュール： 平成22～24年度 工事实施
平成24年度 供用開始

既に、し尿・浄化水槽汚泥は下水終末処理場に圧送し、バイオガス化しています。今後、生ごみについても生ごみ資源化処理施設を整備し、前処理を行なった後、下水終末処理場に圧送することでバイオガスの発生量が増え、エネルギー資源として有効活用できます。施設整備にあたり、既設のし尿処理場、下水終末処理場を活用することで整備コストの縮減を図ります。

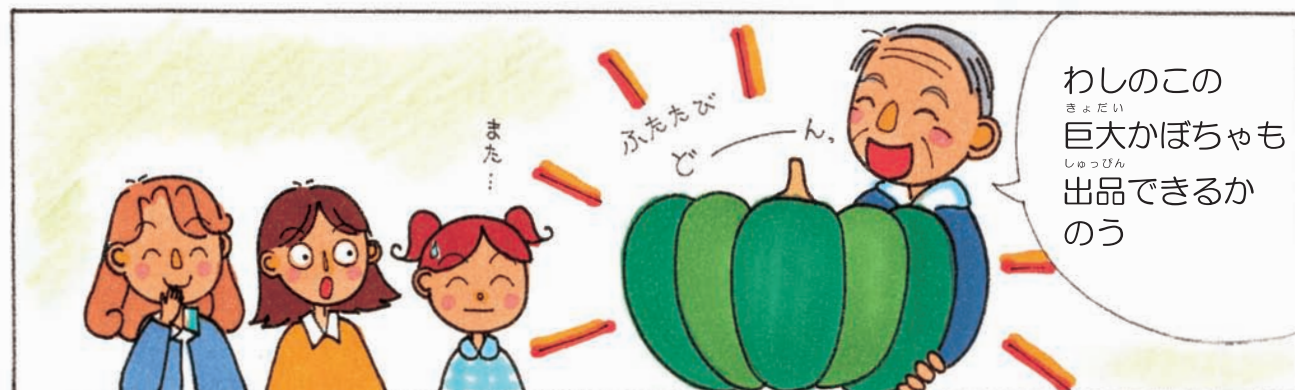
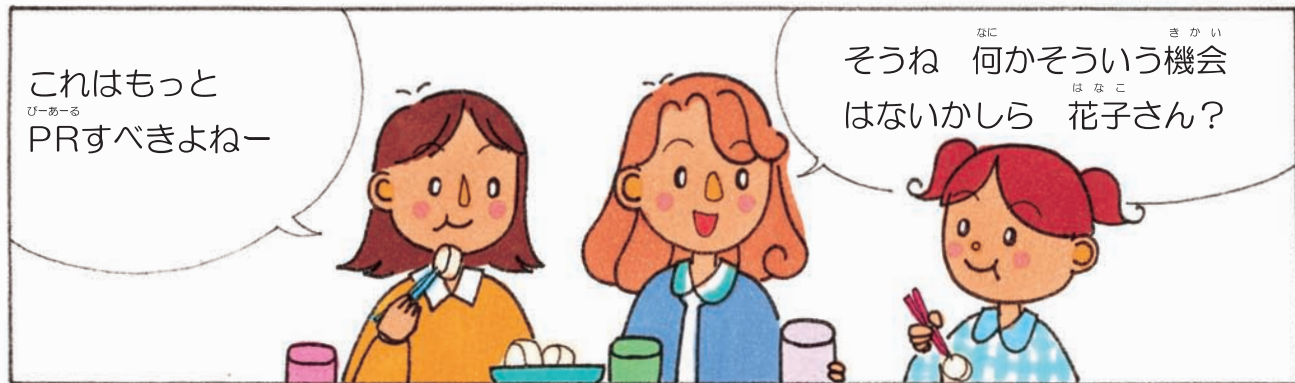
豆知識

ごみ処理施設整備について

市では、循環型社会形成に向けた施策を推進しています。生ごみ処理施設の整備を始め、今後は紙資源化施設を整備し、紙資源リサイクルに取り組んでいきます。このように、可燃ごみの減量化を進めながら、適正な規模の焼却施設を整備し、同時に最終処分場の延命化を図ることとしています。循環型社会に向けた取り組みは、施設整備だけでなく市民と行政が連携・協働することが重要です。

のうさんぶつ とくさんひん はっしんきょてん こうりゅう ば
農産物、特産品の発信拠点・交流の場

しみんさんかがた ばん
市民参加型・えにわ版マルシェ



基本目標5

地域資源を生かした活気あるまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業
- ・シーニックバイウェイ活動の促進
- ・地産地消推進計画の推進
- ・異業種交流事業
- ・商店街空き店舗対策事業
- ・(仮称)中小企業振興基本条例の策定
- ・物流基地構想の検討
- ・優良田園住宅整備の推進



Pick
up

市民参加型・えにわ版マルシェ

えにわ産の新鮮・高品質な野菜や特産品、手づくり品などをはじめ、道内のなさまさま産物を、生産者や市民の皆さんが自由に出品・販売できる「えにわ版マルシェ」を開催し、まちの活性化を図ります。えにわ独自の個性あふれる「市民のための つなげる マルシェ」を目指し、平成22年度に検討組織を設立。平成23年度からの実施に向け、協議・検討に着手しましたが、取り組みはまだ始まったばかりです。大勢の人でにぎわい、笑顔の輪が広がるマルシェを、市民・各種団体の皆さんと一緒に、つくりあげていきたいと思っております。たくさんのご意見をお待ちしています！

マルシェとは！？

地場産品を出展する市場を開催して、市民・商業者・観光客など、大勢の人々が自由に集い交流の輪を広げる場所です。

道内でも、サッポロ・マルシェや富良野市のマルシェが脚光を浴びています。

えにわ版マルシェでは、恵庭産の野菜をはじめ特産品を含めた販売・PRを行うのはもちろん、道産品なども広く扱い、広域的な展開を目指す予定です。

豆知識

各地のマルシェ

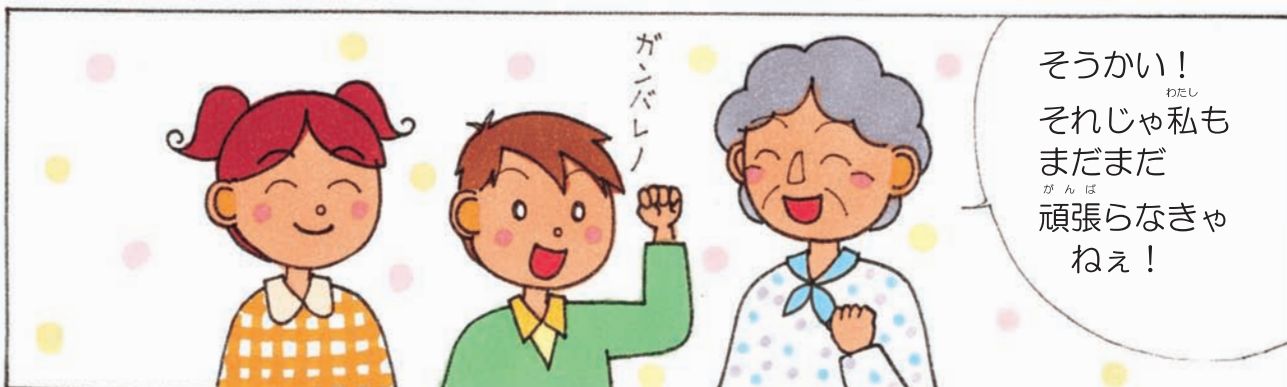
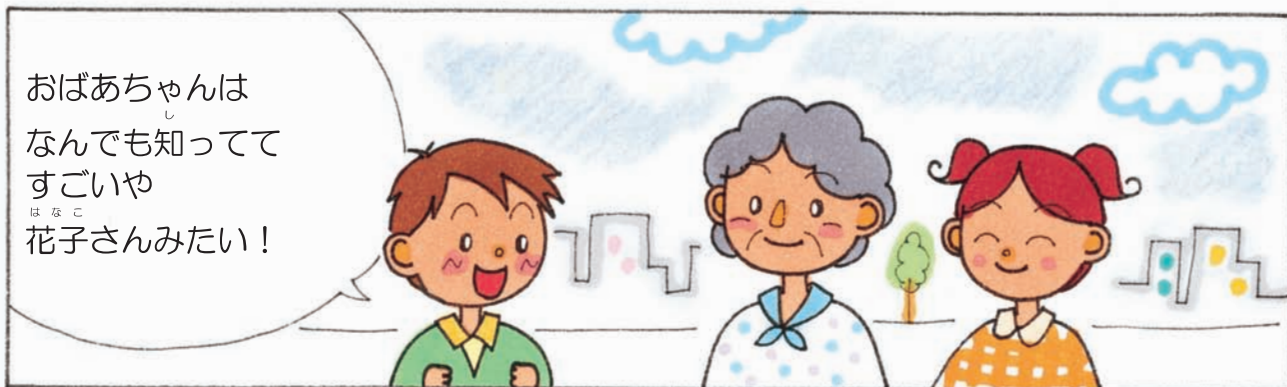
- ▶札幌市… サッポロファクトリー アトリウムなど、札幌市内7カ所で開催される「サッポロ・マルシェ」。北海道全域の農産物など各地の特産品を集めて開催されます。生産者や料理人など作り手の顔が見えるぬくもりあふれるイベントです。
- ▶富良野市… 常設型のマルシェとして、農作物の直売所やテイクアウトのお店、スイーツカフェなど、地元食材を生かした「食文化」と「タウン情報」の発信基地として、また市民・商業者・観光客の交流拠点として、新たなにぎわいを創出しています。

しみん つど もんじゅ ちえ
市民集えば 文殊の知恵

ちえ

がしやう
仮称

えにわ知恵ネットバンク



基本目標6

市民と行政が情報と活動を共有するまちづくり

後期5カ年の主な計画

- ・イベント情報・不審者情報のメール配信
- ・(仮称)恵庭まちづくり基本条例の策定
- ・市長へのまちづくり提言、市民の広場、出前講座の実施
- ・市民参加型市場公募債の発行
- ・えにわ知恵ネットバンク事業
- ・恵庭まちづくり懇談会の開催



Pick
up

仮称) えにわ知恵ネットバンク

市は、市民と行政の協働による生き生きとした活力あるまちづくりや、市民活動を活性化するため、えにわの知恵(人材)を最大限に活用する場として「(仮称)えにわ知恵ネットバンク」を創設します。市民の“学びの場”として、“知識や技能を生かす場”として、あるいは“社会貢献の場”として人と人をつなぐ事業を目指します。

知恵ネットバンクって何？

市民の持っている知識や技能をまちづくりに生かしてもらうため、人材資源を銀行に見立てて登録してもらい、必要な人に情報提供する制度です。

どんなことを教えてくれるの？

教養や趣味、ボランティア、スポーツなど、登録している市民の人が持っているさまざまな知識を活用することができます。

みんなで作りあげていきましょう！

市民活動の普及や活性化を促進し、行政と市民、市民と市民のつながり、ふれあい・協働をかたちにするため、恵庭で市民活動に携わるすべての人や団体をネットワーク化し支援する仕組みを、皆さんと一緒に“これから”作りあげていく事業です。皆さんのアイデアやご意見をお待ちしています！

豆知識

最近よく聞く「NPO」って、そもそも何？

Non-Profit-Organizationの略で、「民間非営利組織」を広く指します。NPO法人とは、法人格を取得した民間非営利組織をいい、その活動範囲は福祉や教育、まちづくりなど17分野のさまざまな内容にわたります。「新しい公共」として、地域の重要な担い手となりつつあります。

後期基本計画の概要

将来の目指す都市像を描き、実現に向け、
具体的な方向性を市民の皆さんに示す

第4期恵庭市総合計画**後期基本計画**を策定しました。

第4期恵庭市総合計画は、「水・緑・花 人がふれあう 生活都市 えにわ」を将来都市像に、平成18年度に策定されました。平成27年度を目標年度として、「基本構想」「基本計画」および「実施計画」により構成されています。その中で基本計画は、社会・経済情勢の変化を考慮し、中間年に見直すことを前提としています。

このことから、平成22年度に基本計画を見直し、「後期基本計画」を策定しました。平成23年度から平成27年度までの5年間は、後期基本計画に基づきさまざまな施策を展開していきます。

基本構想

(10カ年 平成18年度～平成27年度)

総合計画の目的、構成、計画想定人口、将来都市像、目標、重点施策により構成されています。

基本計画

(前期5カ年 後期5カ年)

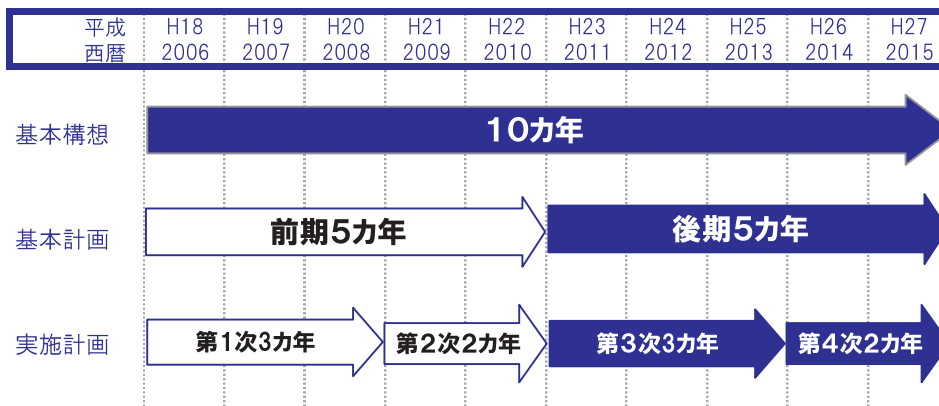
基本構想を実現するために、進むべき方向性を明確にし、具体的な施策の基本方針を明らかにしたものです。

実施計画

(第1次3カ年 第2次2カ年 第3次3カ年 第4次2カ年)

基本計画で示された施策を、計画的かつ効率的に実施するための計画を明らかにしたものです。

●総合計画構成図



▶ 第4期恵庭市総合計画の詳しい内容は恵庭市ホームページでご覧になれます。

施策の体系

将来都市像

水と緑と花に彩られた
生活が豊かなまちづくり
人が暮らしやすいまち
水と緑と花に彩られた
美しいまち
子育てしやすい暮らし豊かな心のかようまち
地域資源を生かした個性と活気あるまち
協働による地域づくりを進める交流のあるまち

将来のまちの姿

水と緑と花に彩られた美しいまち

子育てしやすい暮らし豊かな心のかようまち

地域資源を生かした個性と活気あるまち

協働による地域づくりを進める交流のあるまち

基本目標

1 水と緑と花に彩られた魅力あるまちづくり

2 安心して健康に暮らし子どもを大切にすまちづくり

3 学ぶことと元気なからだを育むまちづくり

4 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり

5 地域資源を生かした活気あるまちづくり

6 市民と行政が情報と活動を共有するまちづくり

分野

62の目標

【土地利用・都市環境】 1 森林・農業・都市地域の地域特性に応じた土地利用を図ります
2 恵庭らしい都市景観づくりを進めます
3 花のまちづくりを推進します
【公園・緑地】 4 水と緑に彩られた生活空間があるまちをめざします
5 市民が憩える水辺環境づくりを進めます
【環境保全】 6 自然と共生する環境保全活動に取り組みます
7 きれいなまちをつくっていきます

【保健・医療】 8 市民のライフスタイルなどに応じた健康づくりを推進します
9 安心して医療が受けられる環境を整備します
【地域福祉】 10 地域福祉活動の活性化をめざします
【児童福祉】 11 地域におけるさまざまな子育て支援サービスを充実します
12 子どもや支援を要する家庭への取り組みを充実します
【障がい者福祉】 13 障がい者が地域で自立して生活できる施策を推進します
14 地域支援体制の確立と障がい者の社会参加を促進します
【高齢者福祉・介護福祉】 15 適正な介護サービス運営を推進します
16 総合的な介護予防対策を推進します
17 高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進します
【社会保障】 18 医療保障を充実します
19 生活の安定と自立を支援します

【教育】 20 子どもの個性を伸ばし育む教育環境を充実します
21 高等学校・高等教育機関と地域の連携を図ります
【学習活動】 22 いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境づくりを進めます
【図書館】 23 生涯各期にわたる読書環境を充実します
【文化・文化財】 24 個性豊かな資質の高い芸術文化を築いていきます
25 カリバ遺跡などの文化財を保護し活用します
【スポーツ】 26 さまざまなスポーツに誰もが参加できる環境づくりを進めます

【市街地整備】 27 職・住・遊・学などの都市機能が充実したまちづくりを進めます
28 都市の中心としての恵庭駅周辺整備を進めます
29 市営住宅の整備を進めます
30 ユニバーサルデザインのまちをめざします
【道路・交通】 31 市内道路網の整備と広域道路・自転車道の整備をめざします
32 冬も移動がしやすい環境づくりを進めます
33 道路沿線の美化とまちの案内標識を充実します
34 エコバスなど市内公共交通のネットワークを充実します
【上・下水道】 35 水道水源の確保と水道施設整備を進めます
36 下水道施設整備を進めます
【ごみ処理】 37 ごみ処理施設を整備しごみを適正に処理します
38 ごみの減量化とリサイクルを推進します
【防災・消防体制】 39 市民の防災意識を高めます
40 治水対策を進めて安全で安心して暮らせるまちをめざします
41 消防・救急体制を充実します
【防犯・交通安全】 42 市民が安心して暮らせるまちをめざします
43 交通安全対策を充実します
【基地】 44 基地との共存を図りながら基地対策事業を進めます
【墓園】 45 恵庭墓園の整備を進めます

【地域資源】 46 地域資源を活用し新事業の創出や新たな産業を育てます
【観光】 47 多様な観光資源を活用し、観光事業を推進します
【工業】 48 新事業の創出や起業家を育成するリサーチコア事業を推進します
49 地域産業の活性化と企業誘致活動を強化します
【農業】 50 農業生産基盤の整備と多様な担い手を育成します
51 都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します
【商業】 52 地域に根ざした商店街づくりを進めます
【労働環境・消費生活】 53 求職者の技能向上と就業の場を創出し拡大します
54 消費生活の安定と消費者保護に努めます

【協働】 55 市民と行政が情報を共有していきます
56 相互理解と協働の行政システムづくりを進めます
57 市民活動を支援します
【男女共同参画】 58 男女が平等に暮らせるまちづくりを着実に進めます
【交流】 59 国際交流・姉妹都市交流を推進します
【行財政運営】 60 地方分権時代に即した行政組織づくりを進めます
61 効率的な行政運営と健全な財政運営に努めます
62 近隣市町村との広域的連携事業を推進します

後期基本計画PR版



絵:小川 里恵子

STAFF

池田 肇(総務部 秘書課)
早川 剛志(生活環境部 市民活動推進課)
小田 弘子(企画振興部 広報広聴課)
亀山 弘子(保健福祉部 障がい福祉課)
村山 周平(保健福祉部 介護福祉課)
吉田 智哉(子ども未来室 子ども家庭課)
吉成 祐輔(教育部 総務課)

発行
北海道恵庭市
企画調整課
平成23年3月